



みんなで作ろう 小田付地区 重伝建 標識プロジェクト 2020

2020年11月～2021年5月

2018年に重要伝統的建造物群保存地区（略して「重伝建地区」）に選定された小田付地区の伝統的建造物（特定物件）であることを示す標識がこれから作成されます。どんな標識にすると小田付の人々が誇りを持ち、見る人が楽しめるかをみんなで考えていくプロジェクトを進めています。2019年度の活動では、小田付の財産を掘り起こすことを目的に、まちなみの調査や聞き取りを行い、地域資源の豊富さを再確認することができました。今年度、引き続き地域の歴史や人びとの思いを調査し、標識のデザインを提案していきます。小田付のみなさまにお話を聞かせていただいたり、実際の建築物を見せていただいたりしたいと考えていますので、ご協力を宜しくお願いいたします。



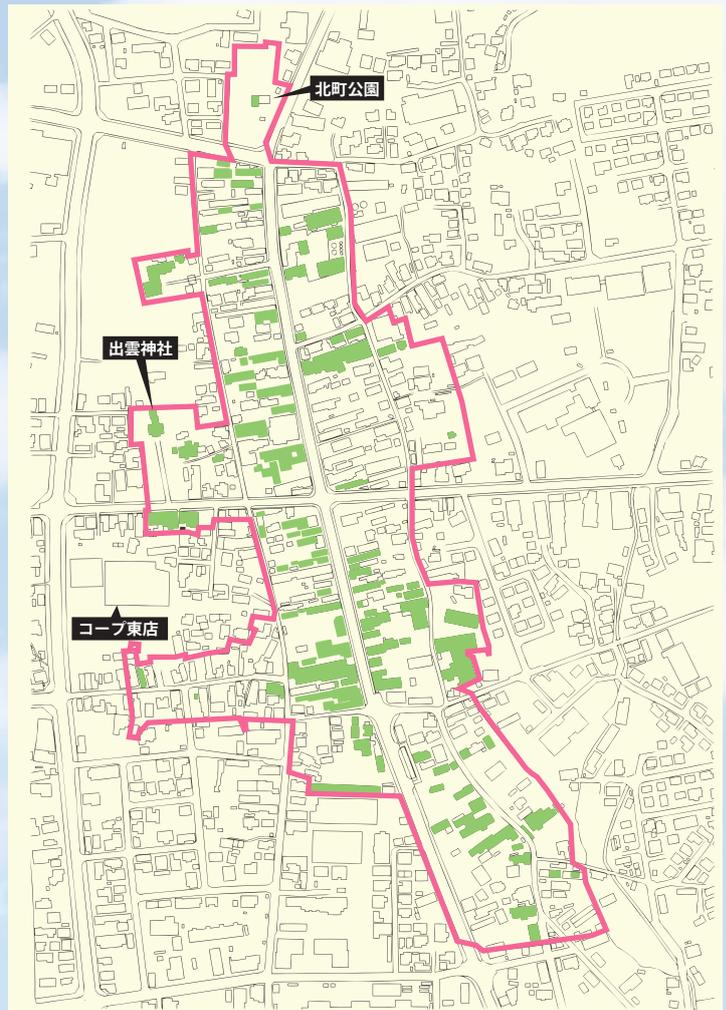
おたづきの物語を探して、可視化して、また新しい物語が生まれる。
 そんなふうに、おたづきの探検が続いていくきっかけになるような標識がデザインできたら

小田付地区が今後、町全体として景観の維持・継承などに取り組んでいくために、地域の人々のさらなる意識と共有が必要になると考えられます。重伝建地区の特定物件であることを示す標識の作成に町全体で取り組むことで、単なる標識ではなく町のシンボルとして、重伝建地区に関わる人々や周辺地域への認知向上につなげます。

その方法として、地域の歴史や地域の人びとの思い、『おたづきの物語』を探し、可視化して、また新しい物語が生まれるような、おたづきの探検が続いていくきっかけになるような標識デザインを提案できたらと考えています。出来上がった標識などを利用して地域内を巡り歩けるような仕組みを考案するまでを目標とし、小田付地区外の人にも重伝建地区であることを広く発信し、町の魅力を周知していきます。

実現したいアイデア

- ・ おたづきのストーリーを可視化する
- ・ ストーリーを子供たちへ語り継ぐ
- ・ 水路・歴史・建築など、テーマを決めてセルフツアーができる
- ・ 小田付の景観を損ねない控えめなデザイン
- ・ 小田付=どこへでも歩いていけるまち（コンパクトシティ、脱クルマ社会）
- ・ おたづき探検を継続して新たなストーリーを発見するサステイナブルなスキームをつくる



■ 緑色に塗られている建物が伝統的建造物（特定物件）です。

年間計画

おたづき探検隊 ～ 小田付の宝探し

地域の歴史や地域の人びとの思いをヒアリング、調査して、標識のデザイン提案に活かします。

2020年 2021年
 期間 11月～ 2月 場所 小田付地区周辺

記録映像の作成

活動を通して小田付の現在を記録して財産とします。

2020年 2021年
 期間 11月～ 5月 場所 小田付地区周辺
 協力 飯田将茂 氏（アーティスト・映像作家）

交流・報告会

小田付で学びを得て社会で働く若者に声をかけ、小田付でのストーリーを振り返り、地域の方々と共有します。年間の調査内容の報告、標識のデザイン案の発表も行います。

2021年
 日時 2月予定 場所 小田付地区内予定

※詳細は改めてご案内させていただきます！

協力

筑波大学 原忠信 研究室

2013～2016年「喜多方・夢・アートプロジェクト」における事業をはじめとして、2019年度実施した「南町2850プロジェクト2019」で空き家・空き地の再生・活用のための事業で協力をいただくなど、小田付地区との関わりが長く続いています。ビジュアルデザインを専門とする同研究室と連携して事業を実施します。

テクノアカデミー会津 観光プロデュース学科

地域の観光産業を総合的にプロデュースできる人材、様々なサービス業に対応できる人材の育成を目指す学科であり、地域の活性化をテーマとした本事業を、教育実践の一つに結びつけ小田付地区と連携して事業に取り組みます。

お問合せ先

キタ美実行委員会

興味をもたれた方、ご質問など、お問合せください！

TEL : 0241-23-5188 (担当 五十嵐)
 MAIL : contact@kitabi.jp
 H P : https://kitabi.jp/

